

# 2021年3月期決算説明会

2021年5月25日

**ユニチカ株式会社**

## 1. 2021年3月期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

## 2. 各事業セグメントの状況

- ・セグメント別 業績の概要
- ・高分子事業の状況
- ・機能資材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・新型コロナウイルス影響

## 3. 2022年3月期業績予想

- ・2021年度通期業績予想
- ・セグメント別業績予想
- ・重点課題
- ・生産設備の増設・増強

## 4. 中期経営計画

### 補足資料

- ・国内シェア優位事業
- ・事業構成

## 1. 2021年3月期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

## 2. 各事業セグメントの状況

- ・セグメント別 業績の概要
- ・高分子事業の状況
- ・機能資材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・新型コロナウイルス影響

## 3. 2022年3月期業績予想

- ・2021年度通期業績予想
- ・セグメント別業績予想
- ・重点課題
- ・生産設備の増設・増強

## 4. 中期経営計画

### 補足資料

- ・国内シェア優位事業
- ・事業構成

# 業績の概要

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、前期比減収。

営業利益は、原燃料価格及びコスト削減効果等により、前期比増益。

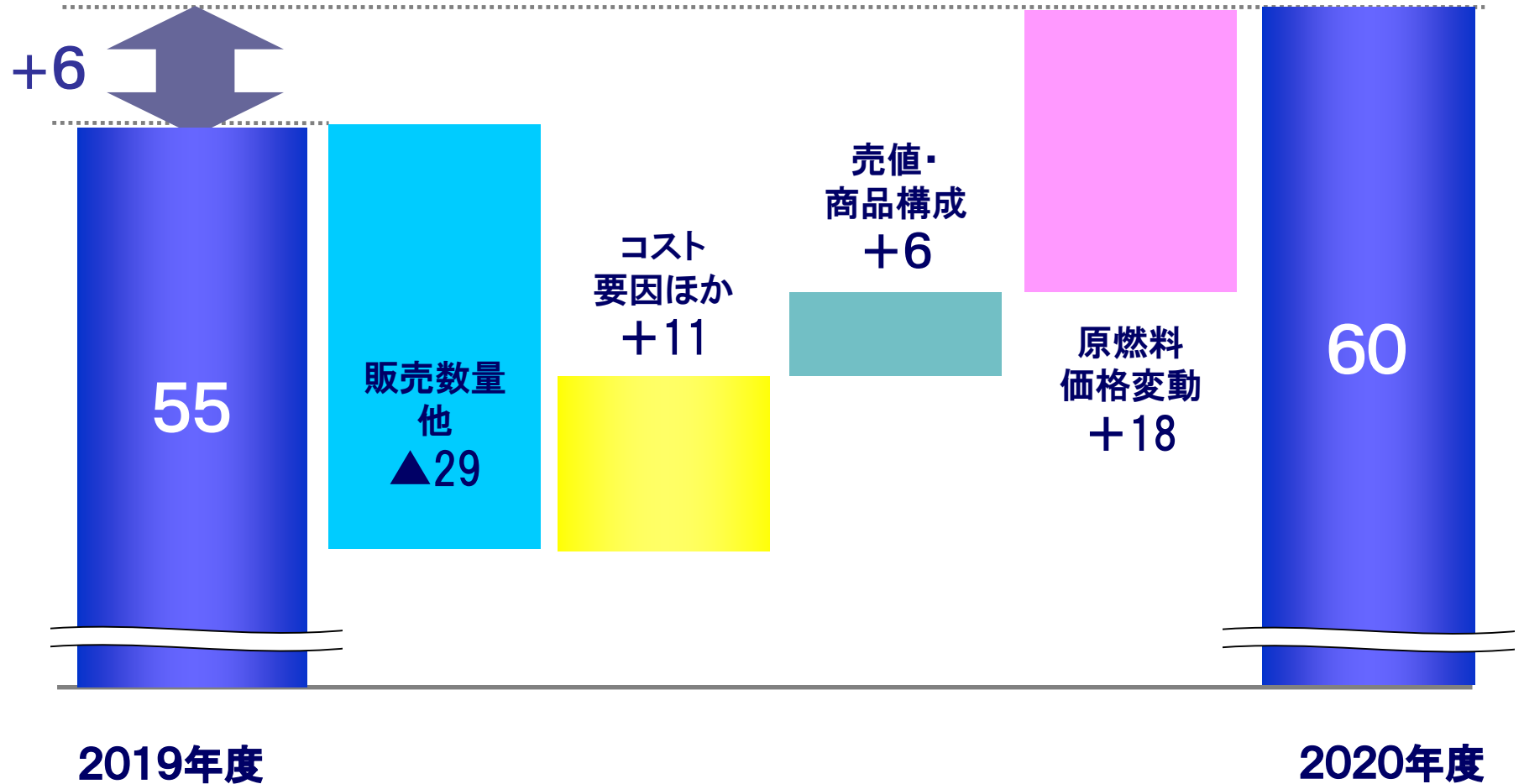
為替差損益の好転などにより、営業外損益はプラスに影響。

特別利益は受取保険金（37億円）等、特別損失は繊維や機能資材事業の減損損失(34億)等、結果、当期純利益は前期比60億円の増益。

連結合計 (金額単位:億円)	2019年度 実績	2020年度 実績	前期比増減	
			金額	率
売上高	1,195	1,104	▲92	▲8%
営業利益	55	60	+6	+10%
営業利益率	4.6%	5.5%	(+0.9%)	—
営業外収益	5	10	+5	—
営業外費用	28	16	▲12	—
経常利益	32	54	+22	+71%
特別利益	1	46	+45	—
特別損失	50	53	+4	—
税金等調整前 当期純利益	▲17	47	+64	—
当期純利益	▲22	39	+60	—
減価償却費	48	45	▲2	▲5%
設備投資	93	74	▲19	▲21%

# 営業利益変動要因分析

(金額単位: 億円)



# 資産・負債・純資産

(金額単位:億円)	2020年3月末	2021年3月末	前期末比増減
<b>資産合計</b>	1,937	1,904	▲33
流動資産	822	811	▲11
固定資産	1,115	1,093	▲22
<b>負債合計</b>	1,548	1,492	▲56
<b>純資産合計</b>	389	412	+23
株主資本	348	389	+40
その他の包括利益累計額	7	6	▲0
非支配株主持分	35	17	▲17

## 1. 2021年3月期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

## 2. 各事業セグメントの状況

- ・セグメント別 業績の概要
- ・高分子事業の状況
- ・機能資材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・新型コロナウイルス影響

## 3. 2022年3月期業績予想

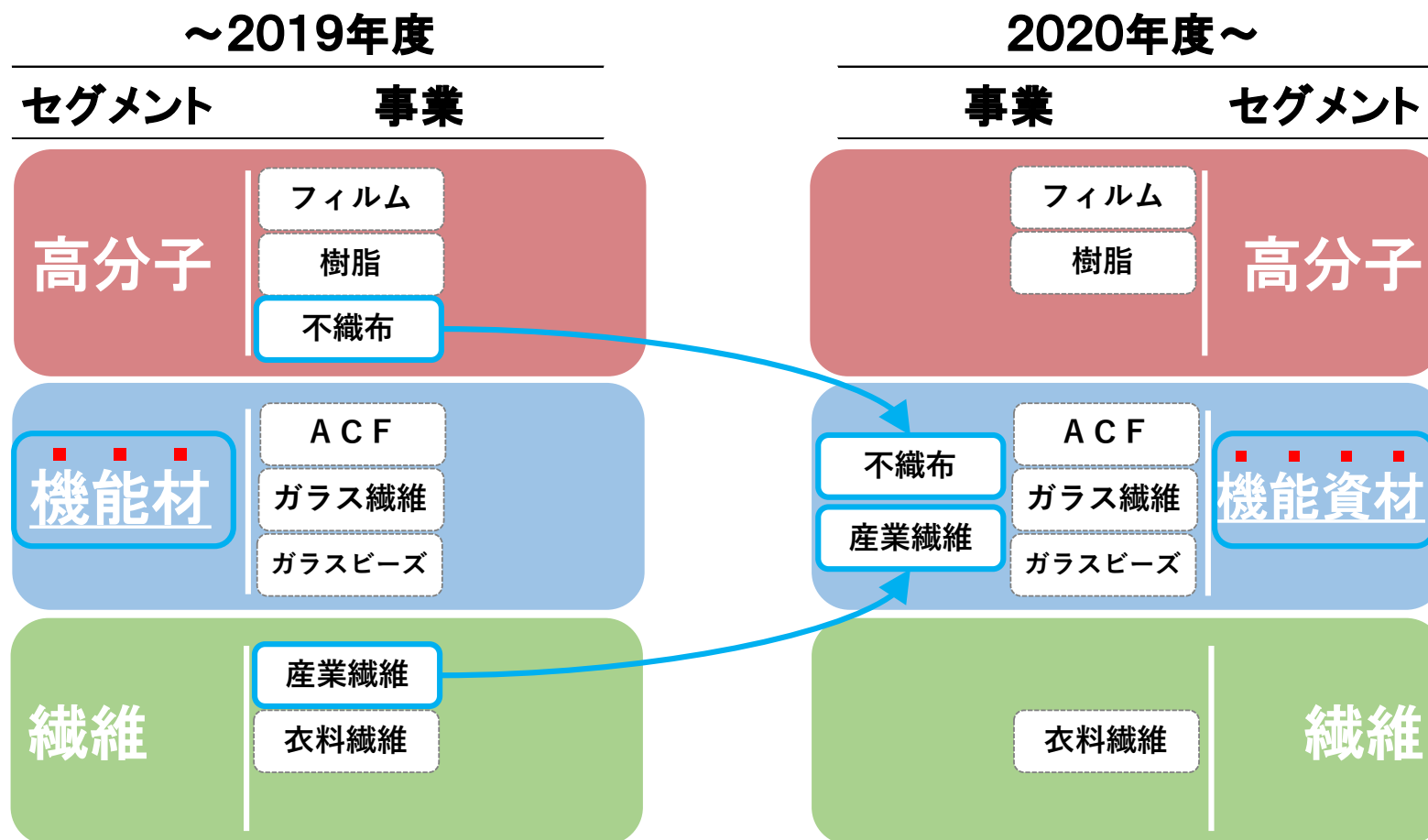
- ・2021年度通期業績予想
- ・セグメント別業績予想
- ・重点課題
- ・生産設備の増設・増強

## 4. 中期経営計画

### 補足資料

- ・国内シェア優位事業
- ・事業構成

# セグメントの一部変更（2020年度～）



※当連結会計期間より、新中期経営計画推進に向けて組織体制を変更し、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、報告セグメントを「高分子事業」、「機能資材事業」、「繊維事業」の区分に変更。なお、本資料中のセグメント別前年同期実績は、変更後のセグメントにて作成しています。

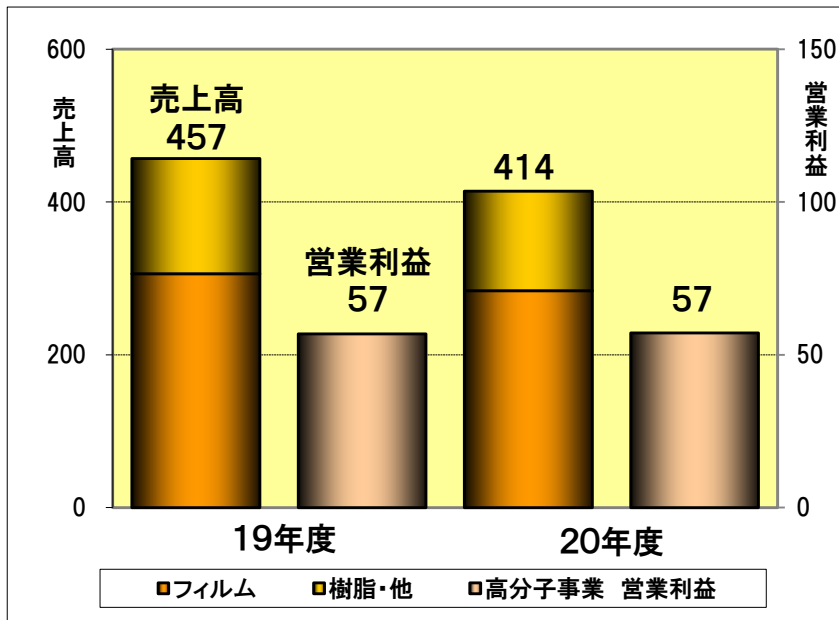


# セグメント別 業績の概要

セグメント別 (金額単位:億円)	2019年度 実績	2020年度 実績	前期比増減	
			金額	率
売上高	1,195	1,104	▲92	▲8%
高分子事業	457	414	▲43	▲9%
機能資材事業	323	296	▲27	▲8%
繊維事業	414	393	▲21	▲5%
その他	1	0	▲1	▲77%
営業利益	55	60	+6	+10%
高分子事業	57	57	▲0	▲1%
機能資材事業	0	8	+8	—
繊維事業	0	▲4	▲4	—
その他	▲3	▲1	+2	—

コロナ影響による需要減少、市況停滞により減収、利益は横ばい。

(金額単位:億円)	19年度	20年度	増減
高分子事業 売上高	457	414	▲43
フィルム	306	284	▲22
樹脂・他	151	130	▲20
高分子事業 営業利益	57	57	▲0



□高分子  
〔減収・  
利益横ばい〕

## ◆フィルム

### 〔包装分野〕

外出自粛の影響により、コンビニエンスストア向け商品や土産菓子用途などは低調も、巣ごもり需要による食品分野などの一時的な販売増加もあり、底堅く推移。バリアナイロンフィルム「エンブレムHG」などの高付加価値品は国内外で順調に売上を伸ばす。

### 〔工業分野〕

半導体分野は堅調、高付加価値品では、シリコンフリー離型ポリエステルフィルム「ユニピール」は堅調、耐熱性ポリアミドフィルム「ユニアミド」の販売は減少。

## ◆樹脂

### 〔ナイロン樹脂〕

電気電子用途や建材、生活雑貨など幅広い用途で販売が減少。自動車用途は、生産台数減少の影響を受けるも、年度後半から回復。

### 〔ポリアリレート樹脂「Uポリマー」〕

情報端末機器用途や事務機器用途、生活用品用途に加え、海外販売も苦戦。

## 建築土木等苦戦も、自動車は年度後半回復。ICクロスは堅調。

(金額単位:億円)	19年度	20年度	増減
機能資材事業 売上高	323	296	▲27
ガラス繊維	84	76	▲7
ガラスビーズ関連	28	26	▲2
活性炭繊維(ACF)	20	19	▲2
不織布	104	98	▲6
産業繊維	88	78	▲10
機能資材事業 営業利益	0	8	8

□機能資材  
[減収・増益]

### ◆ガラス繊維・産業資材分野

設備投資の抑制や工事物件の延期及び中止に伴い、テント、シート等の建築土木用途の販売が苦戦。自動車用途及び環境関連用途は、年度後半回復。

### ◆ガラス繊維・電子材料分野

情報端末機器関連用途で超薄物や低熱膨張タイプなどの高付加価値品の販売が好調。また、パソコンやサーバー向けの半導体用途も好調。

### ◆ガラスビーズ関連

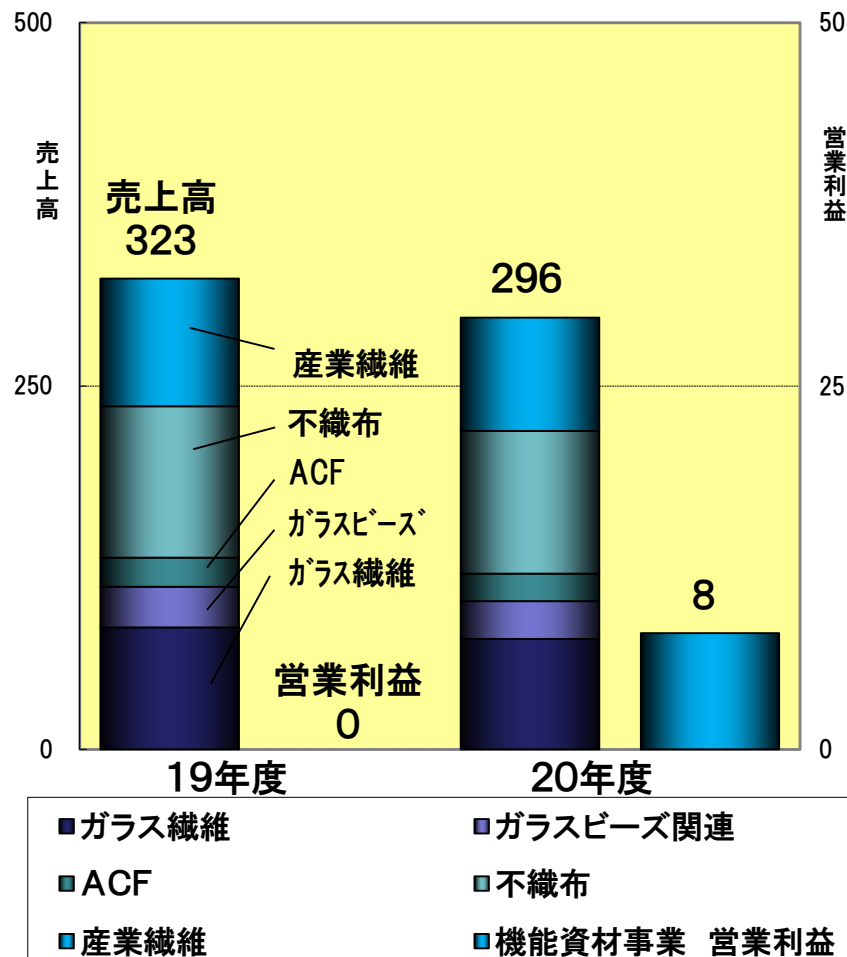
工業用途は自動車を中心とする機械部品関連の需要減少の影響を受け販売が減少。反射材用途及び道路用途も低調。

### ◆活性炭繊維(ACF)

環境関連用途は、電子産業関連の好調を受け、堅調に推移。主力の浄水器用途は、住宅設備関連用に加え、業務用の販売が減少。VOC除去用途も低調。

(次頁続く)

## 建築土木等苦戦も、自動車は年度後半回復。医療用ガウン用途伸長。



(続き)  
□機能資材  
[減収・増益]

### ◆不織布

建築土木用途を中心に産業資材用途、自動車用途、国内のスキンケア用途が低調に推移。

生活資材用途は医療用ガウンや除菌シートなどが伸長し、好調。

### ◆産業繊維

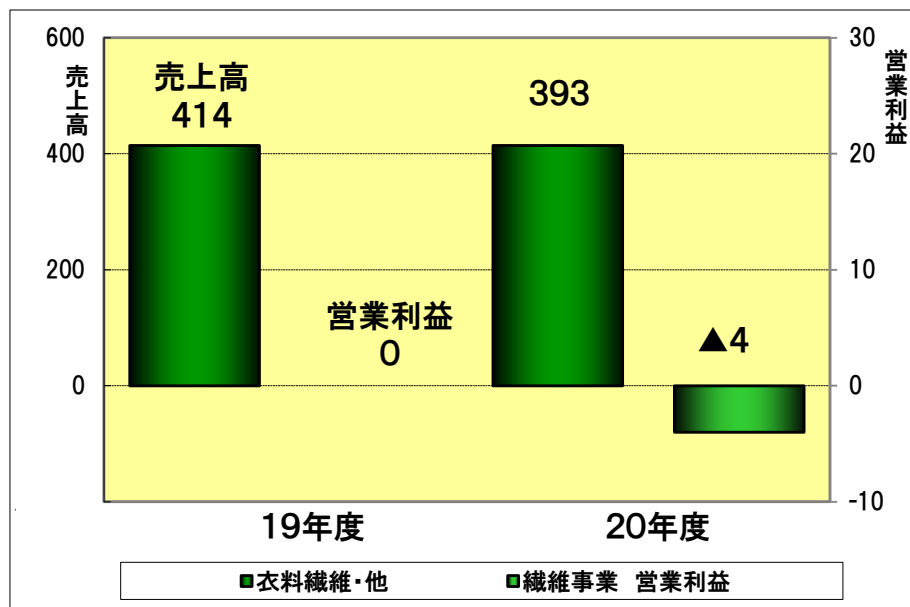
短繊維は、建材用途や自動車用途では低調に推移する一方、生活資材用途はコロナ影響による一時的な需要増加も見られ、産業資材用途も堅調に推移。

ポリエステル高強力糸は、建築土木用途で、工事延期及び休止等の影響を受け販売が大きく減少。

医療用ガウンは販売増加も、各分野で全般的に低調、減収減益。

(金額単位:億円)

	19年度	20年度	増減
繊維事業 売上高	414	393	▲21
衣料繊維・他	414	393	▲21
繊維事業 営業利益	0	▲4	▲4



□繊維・他  
〔減収・減益〕

## ◆衣料繊維・他

新型コロナウイルス感染症拡大により、医療用ガウン及び感染防護服用途の販売が大きく増加。

主力のユニフォーム分野は、サービス・オフィス関連などを中心に需要が低迷し、レディス・スポーツ等の分野も低調となり、全般的に厳しい状況で推移。

# 2020年度 新型コロナウイルス影響

原燃料価格、医療用ガウンや衛生材用途の伸長等のプラス影響が見られた一方で、コロナ影響による市況悪化等が各事業の収益を押し下げた。自動車は年度後半に回復。

		2020年度			
		1Q(4-6月)	2Q(7-9月)	3Q(10-12月)	4Q(1-3月)
高分子	プラス影響	「巣ごもり需要」 フィルム		自動車用途 回復	
	+	自動車、電気電子、機械 需要減		樹脂	
	マイナス影響	外出自粛による影響(土産品、外食向け) フィルム		GoToキャンペーンにより一時的に復調気配もコロナ再拡大を受け再失速	
機能資材	プラス影響	医療用ガウン、衛生材用途需要増		自動車用途 回復	
	+	不織布 産業繊維		建築土木用途は引き続き低調	
	マイナス影響	自動車、建築土木需要減		不織布 産業繊維 ACF ガラス繊維 ガラスビーズ	
繊維	プラス影響	医療用ガウン、防護服用途需要増		年度後半の収益効果は限定的に	
	+	衣料繊維		需要回復には時間を要する見込み	
	マイナス影響	一般衣料・ユニフォーム需要減		衣料繊維	

## 1. 2021年3月期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

## 2. 各事業セグメントの状況

- ・セグメント別 業績の概要
- ・高分子事業の状況
- ・機能資材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・新型コロナウイルス影響

## 3. 2022年3月期業績予想

- ・2021年度通期業績予想
- ・セグメント別業績予想
- ・重点課題
- ・生産設備の増設・増強

## 4. 中期経営計画

### 補足資料

- ・国内シェア優位事業
- ・事業構成

# 2021年度通期業績予想

2021年度は、建築土木用途や衣料繊維での新型コロナ影響による市況回復の遅れ、及び原燃料価格上昇等のマイナス要因を見込む一方で、その他分野の市況回復に伴う増販やコスト削減等により収益目標達成を図る。

(金額単位:億円)	2020年度 通期実績	2021年度 通期予想	前期比 増減
売上高	1,104	1,110	+6
営業利益	60	61	+1
営業利益率	5.5%	5.5%	+0.0%
経常利益	54	47	▲7
親会社株主に帰属 する当期純利益	39	40	+1

前提	2021年度
原油(\$/バレル)	50
為替(円/\$)	100

2021年度予想(億円)	
設備投資	99
減価償却費	54



# セグメント別業績予想

(金額単位:億円)	売上高			営業利益		
	2020年度 通期実績	2021年度 通期予想	前期比 増減	2020年度 通期実績	2021年度 通期予想	前期比 増減
高分子事業 [フィルム・樹脂]	414	460	+46	57	60	+3
機能資材事業 [ACF、ガラス繊維、 ガラスビーズ、 不織布、産業繊維]	296	325	+29	8	3	▲5
繊維事業 [ユニチカトレーディング]	393	325	▲68	▲4	▲2	+2
その他	0	0	▲0	▲1	0	+1
合計	1,104	1,110	+6	60	61	+1

※2021年度業績予想については、「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

## 高付加価値品の展開加速

(フィルム) バリアナイロンフィルムの展開

(フィルム) 工業用PET「ユニピール」拡販  
(フィルム) 耐熱ポリアミドフィルム「ユニアミド」拡販

(樹脂) 「Uポリマー」拡販

(ガラス繊維) 電子材料用超薄ガラスクロス拡販

(ACF) 活性炭繊維空気浄化用フィルター拡販

(産業繊維) PA中空糸膜の拡販



「エンブレムHG」  
惣菜やレトルトコーン向けなど、販売が国内外で伸長、売上高は前期比1.4倍。



「ユニピール」  
シリコンフリー離型ポリエステルフィルム「ユニピール」は国内外に拡販、売上高は前期比1.2倍に拡大。

各種機能樹脂(環境配慮型)

生分解性のバイオ関連素材

## サステナビリティ

「XecoT」

高耐熱ポリアミド樹脂・次世代スーパーエンジニアリング  
**XecoT**  
植物由来のひまし油を原料としたバイオマス素材。自動車や電子機器部品向け高耐熱ポリアミド樹脂

中空糸膜



不純物を分子レベルで分離できる素材。蒸留法からの切替でエネルギー消費を削減できる省エネ素材

「テラマック」

「NANOCONメタリック」

「アクアパック」

「エコフレンドリー」

全社活動



「エンブレムCE」、「エンブレットCE」



ケミカルリサイクルによる再生資源を有効活用した食品包装用ナイロンフィルム／ポリエステルフィルム

「CASTLON／キャストロン」

**CASTLON** 炭素成分が100%植物由来の原料を使用したカーボンニュートラル素材ナイロン 11  
キャストロン

「パルパーソナ」



ユニテカの技術「PALPA」方式を用い、DUPONTの植物性ポリマー「SORONA」を芯部に配し、まわりをコットンで包んだ複重層紡績糸

## ナイロンフィルム海外生産設備の増設

アジア地域を中心とした食品包装用途の需要拡大により、国内(宇治事業所)、海外(インドネシア)ともフル生産の状況。グローバルマーケットの需要拡大に対応するため、インドネシア(エンブレムアジア)に年産10,000トンの増設を進める。コロナ影響により当初計画から遅れが生じており、稼働は2021年秋頃を予定。



## 高耐熱性ポリアミドフィルムの量産化設備投資

従来フィルム化が困難とされていた高耐熱性の熱可塑性芳香族系ポリアミド樹脂を、ユニチカが世界で初めて延伸に成功。新しいタイプの2軸延伸ポリアミドフィルム。量産化により、今後は、耐熱性、衝撃吸収性、耐薬品性などの優れた特徴を活かし、新たな用途への展開を進める。

## 1. 2021年3月期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

## 2. 各事業セグメントの状況

- ・セグメント別 業績の概要
- ・高分子事業の状況
- ・機能資材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・新型コロナウイルス影響

## 3. 2022年3月期業績予想

- ・2021年度通期業績予想
- ・セグメント別業績予想
- ・重点課題
- ・生産設備の増設・増強

## 4. 中期経営計画

### 補足資料

- ・国内シェア優位事業
- ・事業構成

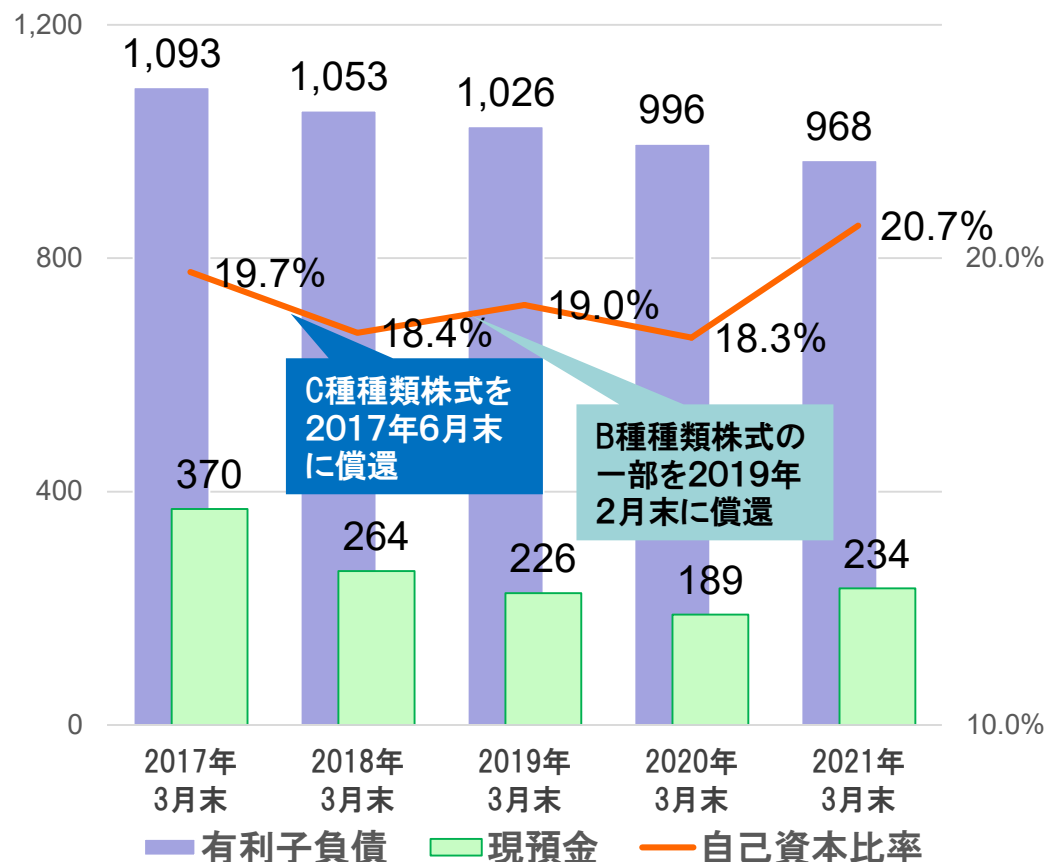


新型コロナウイルス感染症拡大による景気後退、建築土木資材用途の販売落ち込み、衣料繊維の減収(含む会計基準変更影響)もあり、2022年度計画に対しキャッチアップ幅が拡大。ただし、現預金及び有利子負債ポジションに変更なし。

## 計数計画

[金額単位 :億円]	2020 年度 実績	2021 年度 予想	2022 年度 計画
売上高	1,104	1,110	1,470
営業利益	60	61	110

## 現預金、有利子負債、自己資本比率の推移



※2021年度業績予想については、「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

新中期経営計画

**G-STEP30** 1st

## 成長ステージに向けた 「基盤強化」を最優先とする

	基本方針	施策（進捗）
<b>Growth</b>	<p><b>強固な事業ポートフォリオの構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤強化(高付価値商品の展開加速)</li> <li>・サステナビリティの推進(エコ、新事業創出)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓高付加価値商品の販売加速 バリアナイロンフィルム、工業用フィルム(「ユニピール」、「ユニアミド」等)、極薄ガラスクロス、中空糸膜などの高付加価値品の拡販を展開</li> </ul>
<b>Global</b>	<p><b>グローバル化の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル生産体制の構築</li> <li>・アライアンス等による販売力強化</li> <li>・グローバル人材の育成・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓デュッセルドルフ駐在員事務所の現地法人化(ユニチカヨーロッパ)</li> <li>✓エンブレムアジア(インドネシア)で1万トン増設(2021年秋稼働予定)</li> </ul>
<b>Governance</b>	<p><b>社内風土・意識改革 (モノづくりの原点回帰)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質保証体制の確立</li> <li>・リスクマネジメントの再構築</li> <li>・製造現場の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓品質保証室の増強</li> <li>✓リスクマネジメント関係の規程一新、行動基準の見直し</li> <li>✓老朽化設備のメンテナンス本格化</li> </ul>

## 1. 2021年3月期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

## 2. 各事業セグメントの状況

- ・セグメント別 業績の概要
- ・高分子事業の状況
- ・機能資材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・新型コロナウイルス影響

## 3. 2022年3月期業績予想

- ・2021年度通期業績予想
- ・セグメント別業績予想
- ・重点課題
- ・生産設備の増設・増強

## 4. 中期経営計画

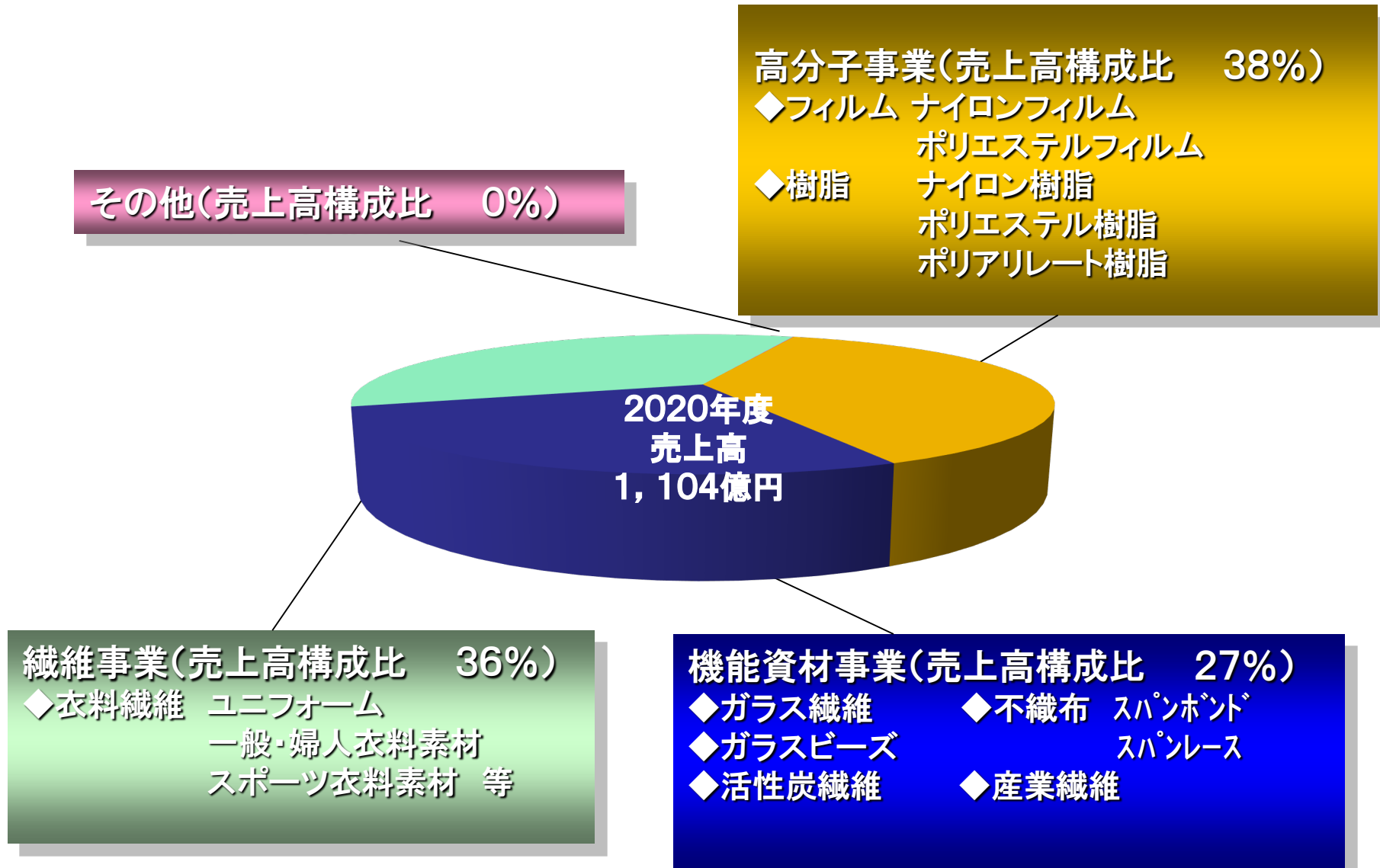
### 補足資料

- ・国内シェア優位事業
- ・事業構成

※シェアは当社推定

	製品	国内 シェア	主な用途	当社の強み
高分子	ナイロンフィルム	40% (1位)	食品包装用 (世界シェア 約15%)	同時二軸延伸技術 商品のバリエーション
	ポリアリレート樹脂	当社 独自	自動車部品、電気・精密機器部材	耐熱性・透明性
機能資材	ガラスクロス(産業用)	20% (2位)	フィルター素材、FRP用、建築 土木資材	原織・製織技術
	ガラスビーズ	40% (1位)	各種反射材、工業用ビーズ	商品のバリエーション
	ポリエステルスパンボンド	35% (1位)	自動車内装、建築、土木資材 農業資材、衛生材料、生活資材	複合繊維化技術
	コットンスパンレース	60% (1位)	衛生材料、生活資材、医療資材	天然素材のシート化技術





## ご注意

**本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。**